

損益状況

●3行単体合算

(単位:億円)

	平成25年度	平成26年度	前年比
業 務 粗 利 益	1,811	1,742	▲ 69
資 金 利 益	1,529	1,496	▲ 33
役 務 取 引 等 利 益	185	209	24
特 定 取 引 利 益	1	1	▲ 0
そ の 他 業 務 利 益	96	35	▲ 60
経費(除く臨時処理分)▲	1,008	998	▲ 10
業 務 純 益※1	668	744	76
コ ア 業 務 純 益※2	749	742	▲ 8
信 用 コ ス ト※3▲	82	▲ 25	▲ 107

「コア業務純益」は、貸出金利回り低下による資金利益の減少を、投信・保険などの役務利益の増加や経費削減でカバーしましたが、前年比▲8億円減少し742億円となりました。

「連結経常利益」は、有価証券(株式・債券)損益は減少しましたが、信用コストの減少およびその他臨時損益が増加したことから、前年比+37億円増加し608億円となりました。

「連結当期純利益」は、前年比+4億円増加の366億円となりました。【3年連続過去最高益】【増益は4年連続】

※1 業務純益=業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分) - 一般貸倒引当金繰入額

※2 コア業務純益=業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

※3 信用コスト=一般貸倒引当金繰入額 + 不良債権処理額

●FFG連結

経 常 利 益	570	608	37
当 期 純 利 益	362	366	4

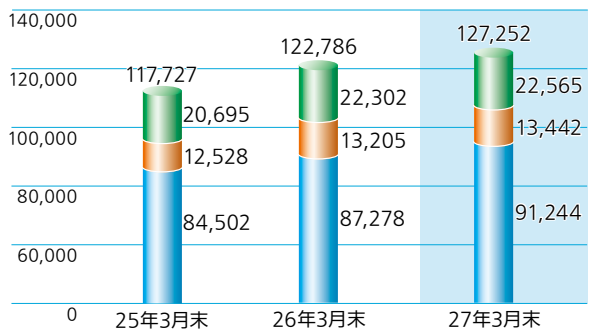
総資金(預金+NCD)の状況(3行単体合算)

総資金(預金+NCD)は、3行ともに堅調に推移しました結果、前年度末比4,466億円増加し、12兆7,252億円となりました。

※NCD…譲渡性預金

総資金残高(期末残高)

(単位:億円)

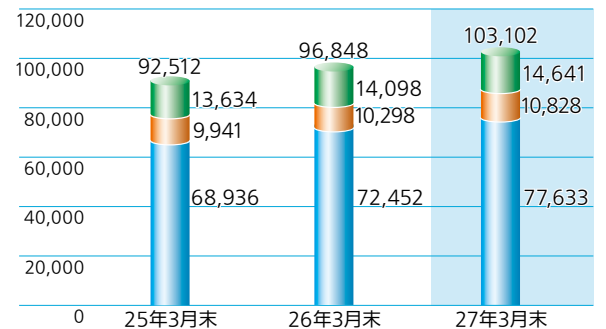


貸出金の状況(3行単体合算)

貸出金は、地元企業や個人のお客さまの資金ニーズに積極的にお応えしました結果、前年度末比6,253億円増加し、10兆3,102億円となりました。

貸出金残高(期末残高)

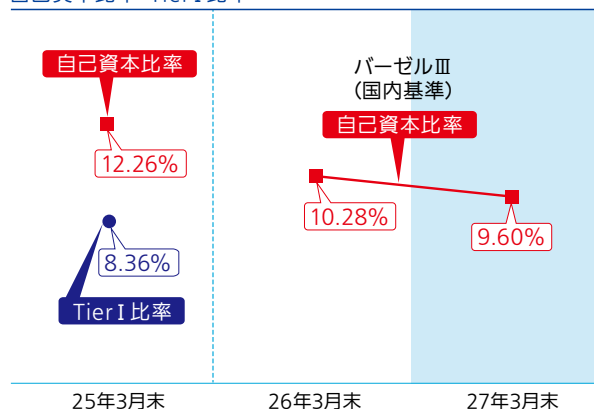
(単位:億円)



自己資本比率の状況(連結ベース)

自己資本比率[バーゼルⅢ(国内基準)]は、前年度末比0.68%低下し、9.60%となりました。

自己資本比率・Tier I比率

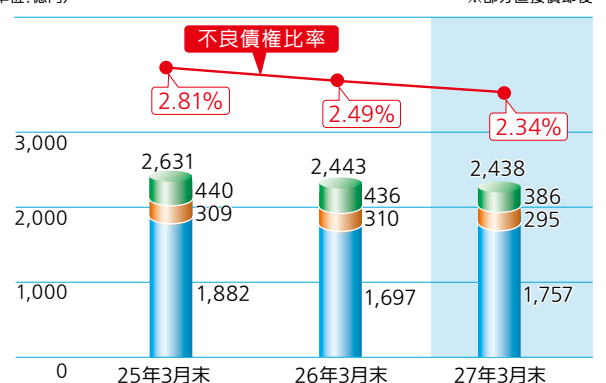


不良債権の状況(3行単体合算・部分直接償却後)

不良債権残高は、前年度末比5億円減少し、2,438億円となりました。不良債権比率は同0.15%低下し、2.34%となりました。

不良債権残高・比率

(単位:億円)



損益状況(単体ベース)

(単位:億円)

	平成25年度	平成26年度	前年比
業務粗利益	1,302	1,245	▲ 57
資金利益	1,082	1,068	▲ 14
国内部門	1,024	997	▲ 27
国際部門	58	71	13
役務取引等利益	137	148	11
特定取引利益	1	1	▲ 0
その他業務利益	82	28	▲ 54
経費(除く臨時処理分)▲	654	658	4
業務純益	584	588	3
コア業務純益	598	586	▲ 12
経常利益	599	590	▲ 9
当期純利益	404	363	▲ 41
信用コスト▲	12	▲ 19	▲ 31

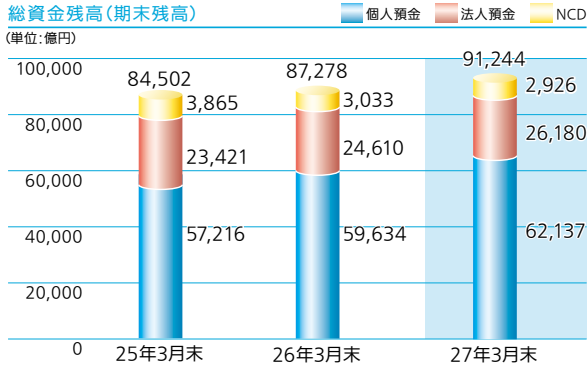
「コア業務純益」は、貸出金利回り低下による資金利益の減少を、投信・保険などの役務利益の増加でカバーしましたが、前年比▲12億円減少し586億円となりました。

「経常利益」は、信用コストの減少およびその他臨時損益が増加しましたが、コア業務純益と有価証券(株式・債券)損益が減少したことから、前年比▲9億円減少し590億円となりました。

「当期純利益」は、前年比▲41億円減少の363億円となりました。

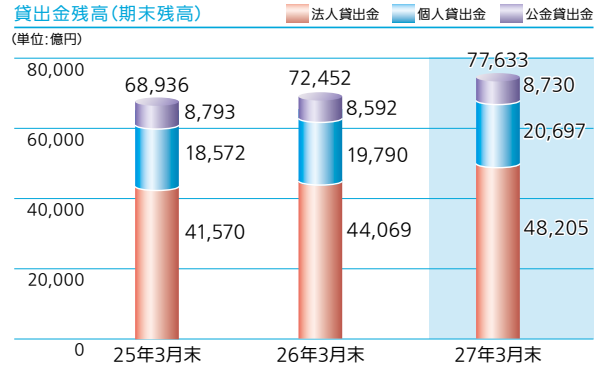
総資金(預金+NCD)の状況

個人預金・法人預金ともに堅調に推移しました結果、前年度末比3,965億円増加し、9兆1,244億円となりました。



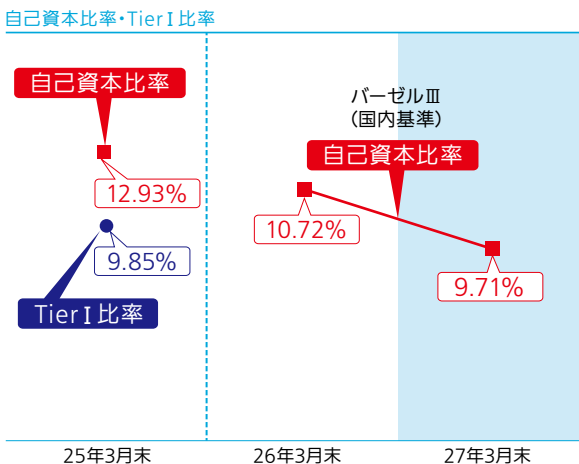
貸出金の状況

法人貸出金が順調に増加した結果、総貸出金は前年度末比5,180億円増加し、7兆7,633億円となりました。



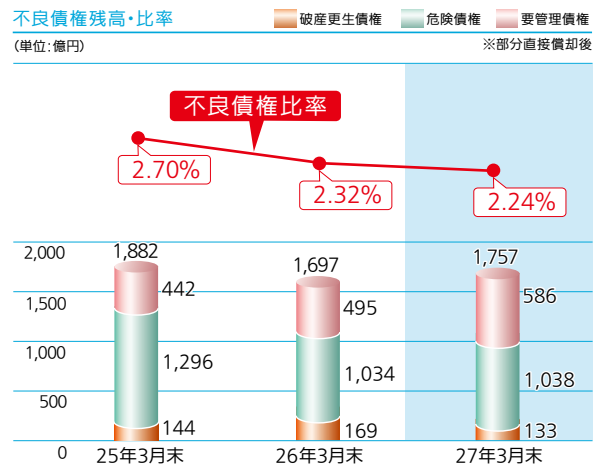
自己資本比率の状況(連結ベース)

自己資本比率[バーゼルⅢ(国内基準)]は、前年度末比1.01%低下し、9.71%となりました。



不良債権の状況(部分直接償却後)

不良債権残高は、前年度末比60億円増加し、1,757億円となりました。不良債権比率は同0.08%低下し、2.24%となりました。



損益状況(単体ベース)

(単位:億円)

	平成25年度	平成26年度	前年比
業務粗利益	204	203	▲1
資金利益	186	182	▲3
国内部門	186	182	▲4
国際部門	▲1	0	1
役務取引等利益	14	18	4
特定取引利益	—	—	—
その他業務利益	4	3	▲1
経費(除く臨時処理分)▲	143	136	▲7
業務純益	30	67	37
コア業務純益	60	67	7
経常利益	12	66	54
当期純利益	50	80	30
信用コスト▲	30	▲6	▲36

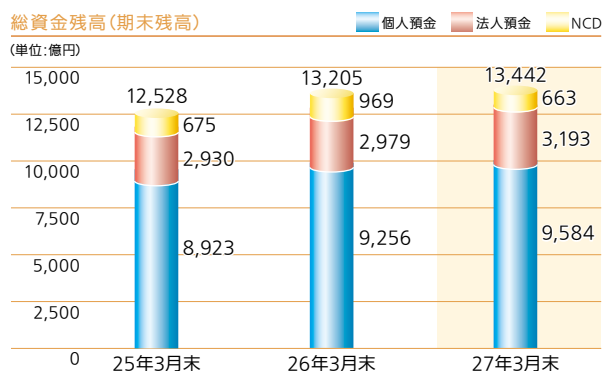
「コア業務純益」は、貸出金利回り低下による資金利益の減少を、投信・保険などの役務利益の増加や経費削減でカバーした結果、前年比+7億円増加し67億円となりました。

「経常利益」は、コア業務純益の増加に加え、信用コストの減少およびその他臨時損益の増加により、前年比+54億円増加し66億円となりました。

「当期純利益」は、前年比+30億円増加の80億円となりました。

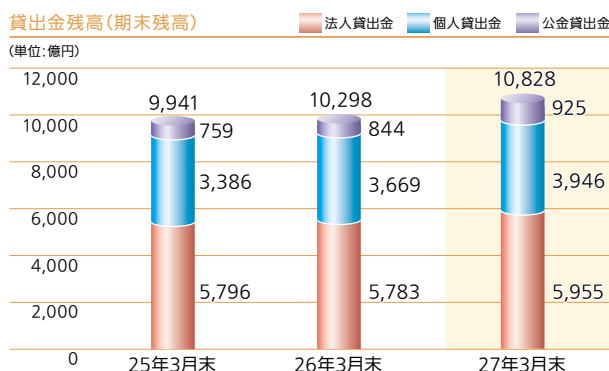
総資金(預金+NCD)の状況

個人預金・法人預金ともに堅調に推移しました結果、前年度末比237億円増加し、1兆3,442億円となりました。



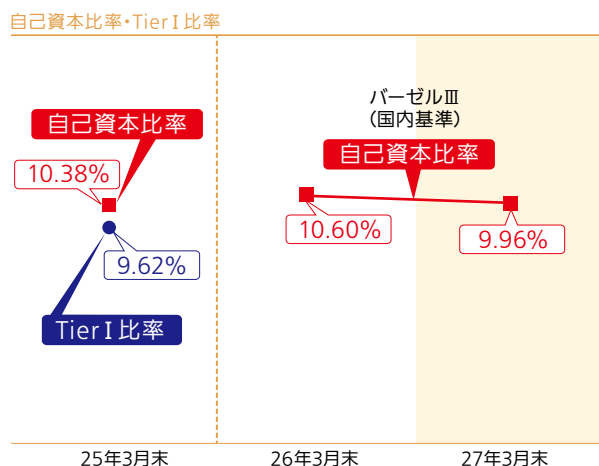
貸出金の状況

住宅ローンを中心とする個人貸出金が順調に増加した結果、総貸出金は前年度末比530億円増加し、1兆828億円となりました。



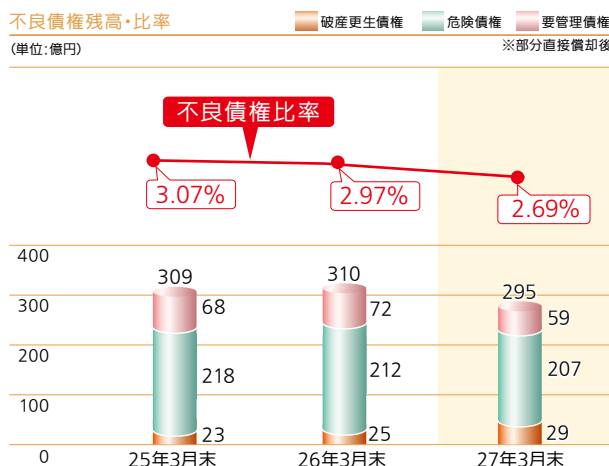
自己資本比率の状況(単体ベース)

自己資本比率[パーゼルⅢ(国内基準)]は、前年度末比0.64%低下し、9.96%となりました。



不良債権の状況(部分直接償却後)

不良債権残高は、前年度末比15億円減少し、295億円となりました。不良債権比率は同0.28%低下し、2.69%となりました。



損益状況(単体ベース)

(単位:億円)

	平成25年度	平成26年度	前年比
業務粗利益	305	294	▲11
資金利益	262	246	▲15
国内部門	262	246	▲16
国際部門	▲0	0	1
役務取引等利益	34	43	8
特定取引利益	—	—	—
その他業務利益	9	5	▲5
経費(除く臨時処理分)▲	211	204	▲7
業務純益	54	77	24
コア業務純益	91	89	▲2
経常利益	55	87	32
当期純利益	46	36	▲11
信用コスト▲	40	0	▲40

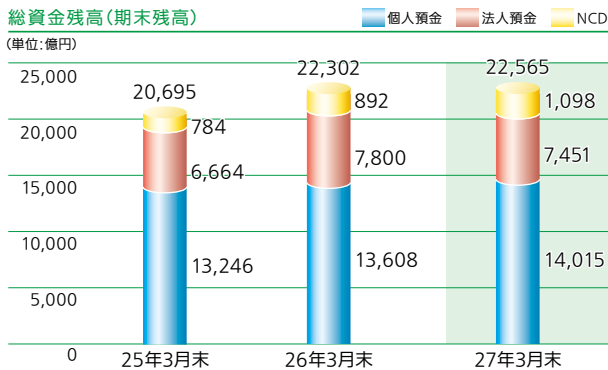
「コア業務純益」は、貸出金利回り低下による資金利益の減少を、投信・保険などの役務利益の増加や経費削減でカバーしましたが、前年比▲2億円減少し89億円となりました。

「経常利益」は、コア業務純益は減少したものの、信用コストの減少により、前年比+32億円増加し87億円となりました。

「当期純利益」は、前年比▲11億円減少の36億円となりました。

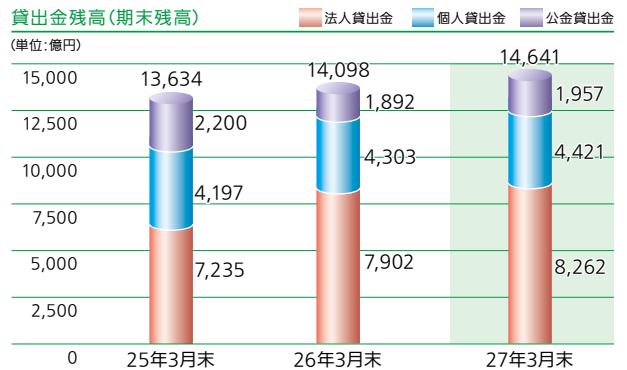
総資金(預金+NCD)の状況

法人預金は減少しましたが、個人預金が堅調に推移しました結果、前年度末比263億円増加し、2兆2,565億円となりました。



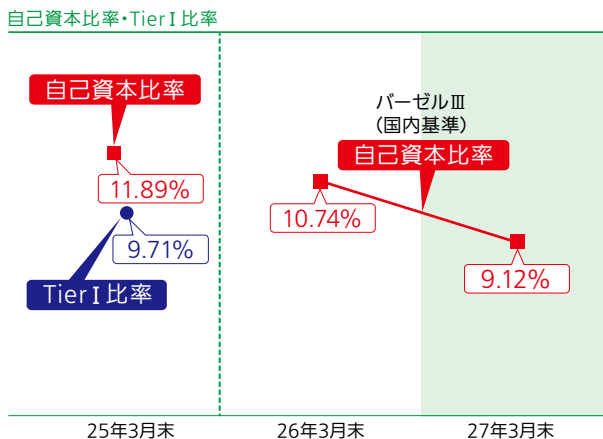
貸出金の状況

法人貸出金が順調に増加した結果、総貸出金は前年度末比543億円増加し、1兆4,641億円となりました。



自己資本比率の状況(単体ベース)

自己資本比率[バーゼルⅢ(国内基準)]は、前年度末比1.62%低下し、9.12%となりました。



不良債権の状況(部分直接償却後)

不良債権残高は、前年度末比50億円減少し、386億円となりました。不良債権比率は同0.45%低下し、2.61%となりました。

